

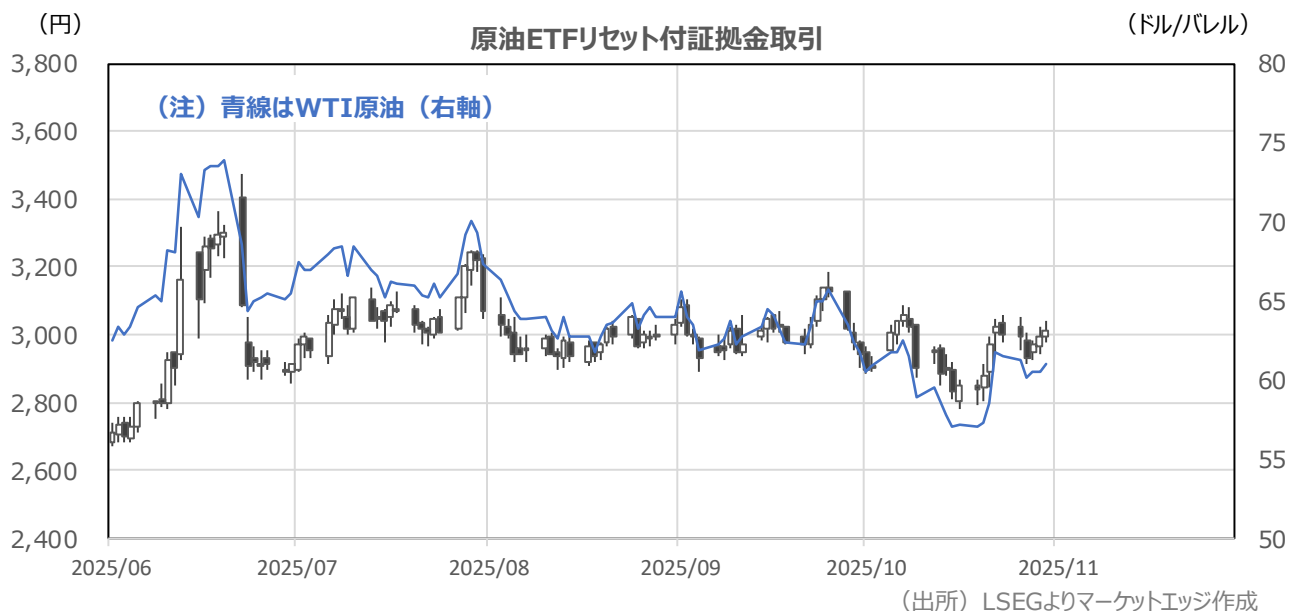
原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2025/11/04号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



【現状確認】



60ドル前後、ロシア産の供給不安の消化一巡

NY原油先物相場は、1バレル=60ドル水準で売買が交錯する展開になった。米欧のロシア石油会社に対する制裁を受けて、10月24日には62.59ドルまで上昇した。ロシア産の供給に混乱が生じることで、短期需給の引き締まりが警戒された影響だ。制裁に対する警戒感から、中国やインドの石油会社がロシア産原油の取引停止を報告する動きがみられた。しかし、国際需給の緩和状態は変わらないとの見方も強く、徐々に戻り売りに上値を圧迫され、一時は60ドルの節目も割り込んだ。ただし、60ドル割れから更に大きく売り込むような動きもみられず、大きく値を崩すことはなかった。

米欧のロシア産石油会社に対する制裁を受けて、複数の石油企業がロシア産原油の取引からの撤退や一時停止を報告している。サウジアラビア国営石油会社サウジアラムコは、その影響で自社の原油に対する需要が上振れしていると報告しているが、大きな混乱までは見られなかった。国際エネルギー機関（IEA）ビロル事務局長は、産油国の増産余力の大きさから影響は軽微との見方を示している。

米エネルギー情報局（EIA）発表の米石油在庫（10月24日時点）は、原油が前週比686万バレル減、ガソリンが594万バレル減、石油精製品が336万バレル減となった。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

【展望】

改めて60ドル割れを打診する、需給緩和見通しは変わらず

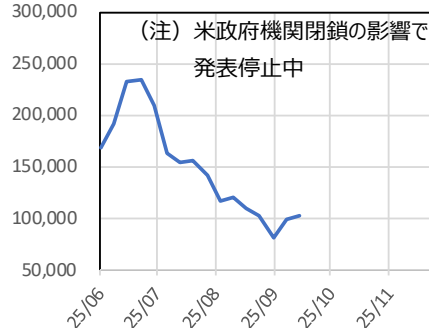
ロシア産の供給不安が再浮上しているが、上げ一服感が維持される見通し。中国やインドがロシア産原油の取引を抑制すれば一定の混乱が生じることは避けられない。最大で数十万バレル規模の原油流通に影響が生じる可能性がある。しかし、戻り売り優勢の地合は崩れない見通し。国際原油需給は大幅な供給過剰の状態にあり、ロシア産原油供給に混乱が生じることを前提にしても、需給緩和見通しに変化は生じない見通し。徐々に60ドルの節目を割り込み、50ドル台後半にコアレンジを切下げる展開になろう。ロシア産原油の供給リスクに関しては、一時的な修正高の有無の視点に留まる見通し。

11月2日には石油輸出国機構（OPEC）プラス会合が開催されたが、12月も自主減産の規模を日量13.7万バレル縮小することを合意した。実際にロシアが減産縮小（＝増産）を進めることが可能かという問題もあるが、OPECプラスが着実に供給水準を引き上げていくことはネガティブ。ただし、来年1～3月の需要端境期には、季節性を考慮して増産を一時停止する方針も示された。

10月30日の米中首脳会談では米中関係の改善が促されているが、原油需要見通しに与える影響は軽微。両国が関税の応酬を再開する最悪の展開は回避されたが、石油需要見通しを大きく上方修正されるようなインパクトは想定されない。

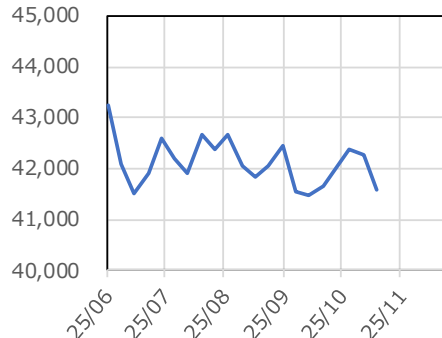
米国が麻薬対策作戦の一環で、ベネズエラ国内の軍事施設などを攻撃するとの観測が浮上していることはポジティブ。9月中旬以降は麻薬密輸容易の船舶を相次いで攻撃しているが、陸上の麻薬密輸拠点とされる軍の管轄下にある港湾や空港が攻撃対象になる可能性がある。ベネズエラ産原油の供給不安が高まると、一時的に反発する可能性はある。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



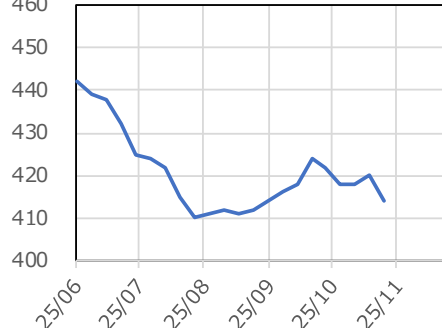
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒104-0033 東京都中央区新川1-3-21 BIZ SMART 茅場町 321号

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 info@markededge.co.jp

小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は
ツイッターで